

2010年度事業報告

I 会員の異動状況

(2011年3月31日現在)

1. 会員の移動	前年度末	入会・就任	退会 (会費滞納による退会を含む)	物故者	現在数
(1) 正会員	24,573名	1,032名	525名	38名	25,042名
(2) 名誉会員	30名	0名	0名	0名	30名
(3) 特別会員	46名	1名	0名	1名	46名
(4) 国際名誉会員	16名	3名	0名	0名	19名
(5) 賛助会員(法人)	85名	1名	6名	—	80名

2. 役員・職員の異動	前年度末	就任	退任	物故者	現在数
(1) 理事	20名	20名	20名	0名	20名
(2) 監事	2名	2名	2名	0名	2名
(3) 幹事	20名	19名	20名	0名	19名
(4) 評議員	250名	5名	5名	0名	250名
(5) 正会員代表	200名	16名	16名	0名	200名
(6) 事務局職員	15名	1名	0名	0名	16名

3. 国際名誉会員

Jong-Hoa Bae (KOREA)	A. John Camm (UK)	Jay N. Cohn (USA)
Anthony N. DeMaria (USA)	Kim Fox (UK)	Valentin Fuster (USA)
David T Kelly (Australia)	Sam-Soo Kim (KOREA)	Spencer B. King, III (USA)
Peter Libby (USA)	William John McKenna (UK)	Ock-Kyu Park (KOREA)
John Ross Jr (USA)	Patrick W. Serruys (Netherlands)	Shahryar A Sheikh (Pakistan)
Sidney C. Smith, Jr (USA)	Karl Swedberg (Sweden)	A.Jamil Tajik (USA)
James T Willerson III (USA)		

4. 物故会員(敬称略)

(1) 名誉会員	(該当無し)					
(2) 特別会員	平川 千里					
(3) 一般会員	赤羽 知之	浅井 友浩	石川 高明	岩本光存欣	内 孝	
	大久保 満	小澤 幸雄	川副 信行	菊池 長徳	菊池 由夫	
	黒川 信悟	桑子 賢司	神徳 直子	小堀多佳子	小村 勲	
	齋藤 文雄	坂田 和之	佐藤 三郎	佐藤 光重	白石 彰徳	
	杉山 吉克	高瀬 瞭	高橋 正	竹内 盈	伊達康一郎	
	館田 邦彦	土橋 弘道	長花 晴樹	新野 正治	西垣龍太郎	
	西澤 孝夫	林 明德	林 雅人	藤原 芳廣	水野 裕雄	
	南 裕也	安井 正治	葉 亮高			

II 会議の事項

(1) 理事	事	会：2010年10月22日	東京都・東京国際フォーラム
		2010年6月25日	東京都・東京国際フォーラム
		2011年1月21日	東京都・東京国際フォーラム
		2011年2月25日	東京都・ベルサール八重洲
(2) 評議員	会	：2011年4月17日	大阪府・大阪国際会議場
(3) 総務委員	会	：2010年10月22日	東京都・東京国際フォーラム
		2010年6月25日	東京都・東京国際フォーラム
		2011年1月21日	東京都・東京国際フォーラム
	・臨時総務委員会	：2010年9月19日	東京都・東京国際フォーラム
	・規約審議部会	：2010年6月9日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
		2010年11月26日	東京都・東京ステーションコンファレンス

- | | | |
|---------------------|--------------|---------------------|
| | 2010年12月19日 | 東京都・ベルサール八重洲 |
| (4) 財務委員会・監査会 | : 2010年6月21日 | 京都府・(社)日本循環器学会事務局 |
| | 2010年10月12日 | 京都府・(社)日本循環器学会事務局 |
| | 2011年1月11日 | 京都府・(社)日本循環器学会事務局 |
| | 2011年3月9日 | 京都府・(社)日本循環器学会事務局 |
| (5) 予算委員会 | : 2010年12月1日 | 京都府・(社)日本循環器学会事務局 |
| (6) 編集委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2010年10月22日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2011年1月21日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (7) 学術委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2010年10月22日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2011年1月21日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (8) 専門医制度委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2010年10月22日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (救急医療委員会合同) | 2010年12月19日 | 東京都・ベルサール八重洲 |
| | 2011年1月21日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| ・専門医編集委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2010年10月22日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| ・専門医実務委員会 | 2010年7月11日 | 京都府・(社)日本循環器学会事務局 |
| | 2010年12月14日 | 京都府・(社)日本循環器学会事務局 |
| | 2011年2月20日 | 京都府・(社)日本循環器学会事務局 |
| | 2011年3月26日 | 京都府・(社)日本循環器学会事務局 |
| ・認定試験委員会(専門医試験合否判定) | | |
| | 2010年9月19日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (9) 教育研修委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2010年10月22日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2011年1月21日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (10) 禁煙推進委員会 | : 2010年9月17日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (11) 健保対策委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2010年9月18日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2011年1月21日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (12) 心臓移植委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2010年10月22日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2011年1月21日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| ・適応検討小委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2011年1月21日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (13) 医療安全・医療倫理委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2011年1月21日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (14) 情報広報委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2011年1月21日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (15) 国際交流委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2010年9月18日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2010年10月22日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2011年1月21日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (16) 学術集会運営委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2010年10月22日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2011年1月21日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (17) 学術集会プログラム委員会 | : 2010年9月18日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2010年12月3日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| (18) 用語委員会 | : 2010年6月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (19) コメディカル委員会 | : 2010年8月12日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2011年1月20日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |

- ・ コメディカル・プログラム部会：2010年 4 月28日 東 京 都・東京ステーションコンファレンス
- (20) AED検 討 委 員 会：2010年 9 月 3 日 東 京 都・東京ステーションコンファレンス
- ・ JCS-ITC運営小委員会：2010年 5 月20日 大 阪 府・新大阪ワシントンホテルプラザ
- ・ 蘇生教育小委員会：2010年12月25日 東 京 都・帝京大学医学部
- ・ 循環器救急医療委員会：2010年 6 月21日 京 都 府・京都センチュリーホテル
- 2010年 9 月19日 東 京 都・東京国際フォーラム
- ・ 蘇生科学小委員会：2010年 5 月 8 日 東 京 都・東京ステーションコンファレンス
- 2010年 9 月17日 東 京 都・東京国際フォーラム
- 2010年12月12日 東 京 都・日本大学
- (21) 利 益 相 反 委 員 会：2010年 6 月25日 東 京 都・東京国際フォーラム
- 2010年10月22日 東 京 都・東京国際フォーラム
- 2011年 1 月21日 東 京 都・東京国際フォーラム
- (22) 医 道 委 員 会：2010年 6 月25日 東 京 都・東京国際フォーラム
- (23) 男 女 共 同 参 画 委 員 会：2010年 6 月25日 東 京 都・東京国際フォーラム
- 2010年10月22日 東 京 都・東京国際フォーラム
- 2011年 1 月21日 東 京 都・東京国際フォーラム
- (24) 調 査 委 員 会：2010年11月26日 東 京 都・東京ステーションコンファレンス
- 2010年12月19日 東 京 都・ベルサール八重洲
- 2011年 1 月 8 日 東 京 都・ベルサール八重洲
- 2011年 1 月16日 東 京 都・国際医療福祉大学三田病院
- 2011年 1 月20日 東 京 都・帝国ホテル
- 2011年 1 月30日 東 京 都・ベルサール八重洲

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

①研究会・学術講演会の開催事業

1. 日本循環器学会年次学術集会

以下のとおり開催予定であったところ、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、2011年3月14日に開催中止が決定された。

第75回日本循環器学会総会・学術集会(JCS2011)

会期：2011年3月18日(金)～20日(日)

会長：小川 聡(慶應義塾大学名誉教授・国際医療福祉大学三田病院病院長)

会場：パシフィコ横浜

メインテーマ：

世界を先導する循環器病学をめざして

Design the Future in Cardiovascular Medicine

2. プレレジストレーション

国内の参加者向けに、参加登録、教育セッション、ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションをオンライン上で行った。

3. 印刷物・製作物

第75回学術集会関連の印刷物・制作物として以下のものを製作した。

抄録CD、プログラム、教育セッションテキスト(循環器専門医Vol.18 Supplement 2011)、コメディカルプログラム抄録集、ピンバッジ、英文パンフレット

また抄録集冊子2,000部を、抄録CD購入者への無料進呈を目的に製作した。

4. MyAbstracts

抄録集に掲載されている演題を検索し、必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをオンライン上で行った。

5. プレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「プレエントリーシステム」を公開した。

6. 日本循環器学会地方学術集会

第103回北海道地方会

会期：2010年6月19日(土)

会場：札幌市教育文化会館(札幌市)

会長：岡本 洋(北海道医療センター・循環器センター循環器科)

参加人数：300

発表演題：41

第104回北海道地方会

会期：2010年9月4日(土)

会場：大正製薬ビル 大会議室(札幌市)

会長：樋上哲哉(札幌医科大学附属病院外科学第二講座)

参加人数：228

発表演題：44

第150回東北地方会

会期：2010年6月5日(土)

会場：岩手医科大学附属循環器医療センター(盛岡市)

会長：奥村 謙(弘前大学医学部循環器内科)

参加人数：190

発表演題：89

第151回東北地方会

会期：2010年12月4日(土)

会場：フォレスト仙台(仙台)

会長：下川宏明(東北大学大学院医学系研究科循環器病態学)

参加人数：220

発表演題：103

第216回関東甲信越地方会

会期：2010年6月5日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：青沼和隆(筑波大学大学院人間総合科学研究科循環器内科学)

参加人数：917

発表演題：120

第217回関東甲信越地方会

会期：2010年9月11日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：新 博次

参加人数：812

発表演題：98

第218回関東甲信越地方会

会期：2010年12月4日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：吉村道博(東京慈恵会医科大学 循環器内科)

参加人数：826

発表演題：119

第219回関東甲信越地方会

会期：2011年2月5日(土)

会場：新横浜プリンスホテル

会長：嶽山陽一(昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 循環器内科)

参加人数：562

発表演題：100

第135回東海地方会

会期：2010年7月3日(土)

会場：愛知県産業労働センター

会長：尾崎行男(藤田保健衛生大学循環器内科)

参加人数：689

発表演題：160

第136回東海・第121回北陸 合同地方会

会期：2010年11月6日(土)

会場：金沢エクセルホテル東急

会長：山岸正和(金沢大学医薬保健研究域医学系 臓器機能制御学・循環器内科)

参加人数：494

発表演題：180

第120回北陸地方会

会期：2010年7月4日(口)
会場：金沢医科大学(河北郡)
会長：秋田利明(金沢医科大学心臓血管外科学)
参加人数：180
発表演題：65

第109回近畿地方会

会期：2010年6月5日(土)
会場：大阪国際会議場(大阪市)
会長：葭山 稔(大阪市立大学循環器病態内科学)
参加人数：998
発表演題：180

第110回近畿地方会

会期：2010年11月27日(土)
会場：国立京都国際会館(京都市)
会長：坂田隆造(京都市)
参加人数：1,013
発表演題：224

第96回中国・四国合同地方会

会期：2010年6月11日(金)
会場：米子コンベンションセンター(米子市)
会長：西村元延(鳥取大学医学部器官再生外科学)
参加人数：372
発表演題：177

第97回中国地方会

会期：2010年12月4日(土)
会場：くにびきメッセ(松江市)
会長：田邊一明(鳥根大学内科学講座第四)
参加人数：316
発表演題：139

第97回四国地方会

会期：2010年12月4日(土)
会場：サンポートホール高松(高松市)
会長：西村和修(高松赤十字病院心臓血管外科)
参加人数：322
発表演題：100

第108回九州地方会

会期：2010年6月26日(土)
会場：アクロス福岡(福岡市)
会長：富永隆治(九州大学循環器外科)
参加人数：619
発表演題：100

第109回九州地方会

会期：2010年12月4日(土)
会場：長崎ブリックホール(長崎市)
会長：前村浩二(長崎大学循環病態制御内科学)
参加人数：456
発表演題：121

7. 学会賞

受賞者の一覧は97ページをご覧ください。

第36回日本心臓財団佐藤賞

第28回Young Investigator's Award

第9回国際留学生Young Investigator's Award

第20回八木賞
第19回CPIS賞
第11回高安賞
第6回心臓血管外科賞
第6回小児循環器賞
第5回循環器再生医科学賞
第4回女性研究者奨励賞
第1回コメディカル賞
第7回Circulation Journal Award

②学会学術誌, 学術論文集, その他出版物の刊行事業

1. Circulation Journal 刊行

- (1) Circ. J. Vol.74 2010年は12冊2,850頁, 平均発行部数約18,700部, 原著投稿論文350件2,783頁(98%), その他67頁(2%)を掲載。
- (2) 2009年の投稿論文は, 受付1,048件(内有効論文1,015件), 内2010年11月30日現在までの採用は260件, 不採用580件, 修正中及び修正期限切れ33件で, 採択率は31%であった。
- (3) 2010年の投稿論文は, 2011年1月5日現在までの受付1321件(内有効論文1298件), 採用は375件, 不採用709件, 審査及び修正中214件であった。
査読にはEditorial Boardを含め769名(12号掲載)がその任務にあたった。
- (4) 2009年のImpact factorは, 2.692であった。
- (5) Circ. J. Supplementは(1180頁, 平均発行部数23,400部), 英文誌1冊と和文誌1冊の合計2冊; 年次学術集会英文抄録2866件945頁(80.1%), 学術委員会ガイドライン217頁(18.4%), その他18頁(1.5%)を掲載した。
- (6) AHA開催期間中に, Associate Editor, International Associate Editor, International Advisory Boardのメンバーを招待し, 出席者36名で第1回国際編集会議を開催した。
- (7) Best Reviewers of the Year 2010
浅沼 博司(京都府立医科大学 先進循環器病治療学講座)
真田 昌爾(大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
藤木 明(静岡赤十字病院 循環器科)
山本 一博(大阪大学臨床医工学融合研究教育センター)
高野 雅充(日本医科大学千葉北総病院 循環器内科)
上松 正朗(労働者健康福祉機構 関西労災病院 循環器科)
石原 正治(広島市立広島市民病院 循環器科)
土谷 健 (EP Expert Doctors-Team Tsuchiya)
庭野 慎一(北里大学医学部 循環器内科学)
安部 治彦(産業医科大学 第二内科)

2. 循環器学用語の検討

循環器学用語の改定について, 会員及び関係学会からの意見を踏まえて検討した。またICD-11作成作業では, 関係分野の学会と協力して作業グループを組織し, 実務作業を開始した。

3. 会告刊行

会告2010 No.1~No.6を発行した。

4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」を運営した。

5. 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS News Letter」を配信した。

③学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する3,846施設に調査依頼を行い、Webを用いて調査を行った。調査対象期間は2009年1月1日~12月31日の1年間で、1,522施設(39.6%)から回答が寄せられた。

2. 学術研究班

1. 拡張型心筋症ならびに関連する二次性心筋症の診療に関するガイドライン
(班長：友池 仁暢)
2. カテーテルアブレーションの適応と手技に関するガイドライン
(班長：奥村 謙)
3. 小児期心疾患における薬物療法ガイドライン
(班長：佐地 勉)
4. 心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(改訂版)
(班長：小川 久雄)
5. 急性心不全治療ガイドライン(改訂版)
(班長：和泉 徹)
6. 成人先天性心疾患診療ガイドライン(改訂版)
(班長：丹羽 公一郎)
7. 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン(改訂版)
(班長：高本 眞一)
8. 虚血性心疾患に対するバイパスグラフトと手術術式の選択ガイドライン(改訂版)
(班長：落 雅美)
9. 心臓血管疾患における遺伝学的検査と遺伝カウンセリングに関するガイドライン(改訂版)
(班長：永井 良三)
10. 臨床心臓電気生理検査に関するガイドライン(改訂版)
(班長：小川 聡)
11. 循環器診療における放射線被ばくに関するガイドライン(改訂版)
(班長：永井 良三)
12. 不整脈の非薬物治療ガイドライン(改訂版)
(班長：奥村 謙)
13. 肺高血圧症治療ガイドライン(改訂版)
(班長：中西 宣文)

14. 虚血性心疾患の一次予防ガイドライン(改訂版)
(班長：島本 和明)

3. ガイドライン作成

2008-2009年度活動の新規3班と2009年度活動の改訂版8班のガイドラインについて、オリジナル版とダイジェスト版を作成、CJ Supplementとして制作し、ホームページ上に公開した。

4. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存のガイドラインのうち次の4班を英訳化してホームページに掲載した。

「血管炎症候群の診療ガイドライン」

「非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン」

「急性および慢性心筋炎の診断・治療に関するガイドライン」

「肺血栓・塞栓症および静脈血栓症の検査・治療・予防に関するガイドライン」

5. Translational Research振興事業

臨床応用・実用化にある最先端の基礎的研究やtranslational researchについて、我が国の先進医学研究に寄与することを目的に、以下2件の研究支援助成を行った。2009年度に採択した1件についても研究支援助成を行った。

・急性心筋梗塞に対するエリスロポエチンによる慢性期心機能改善効果に関する研究—II

研究代表者：

小室一成(大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学)

相澤義房(新潟大学大学院医歯学総合研究科器官制御医学)

・ヒト皮下脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いた重症虚血肢に対する血管新生療法

研究代表者：

室原豊明(名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学)

6. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し、あるいは医師主導型臨床試験を支援する。

・拡張期心不全の治療法確立のための大規模臨床試験(J-DHF Study：主査 堀 正二)

・動脈硬化性疾患危険因子を有する高齢者に及ぼすアスピリンの一次予防効果に関する研究(JPPP：主査 池田 康夫)

・耐糖能異常症例における食後高血糖改善による心筋梗塞再発予防に関する研究(ABC Study：主査 北風 政史)

・日本人における動脈硬化性大動脈弁膜疾患の発

症・進展予防に関する研究(JASS:主査 山本一博)

- ・虚血性心疾患に対する外来型心臓リハビリテーションの有効性に関する多施設前向き登録研究(J-REHAB:主査 後藤 葉一)

7. 循環器救急医療に関する実態調査

蘇生科学小委員会を中心に、研修施設・研修関連施設を対象として心原性ショックに関するアンケート調査を実施し、実態を検討した。

8. 留学支援基金助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に留学支援基金助成を行った。

- ・心房前駆細胞の発生学的・細胞学的解析による心房細動発症機構の解明
中島 康弘(京都大学大学院医学研究科循環器内科学)

9. 国内交流事業

日本腎臓学会・日本放射線学会・日本循環器学会の3学会で「腎機能低下患者に対する造影に関するガイドライン」を作成することとなり、日本循環器学会として、学術委員会と国内交流委員会から4名を作成委員として推薦し、理事会での承認を得た。

④国際交流事業

1. 国際交流事業

海外学会へのブース出展
WCC・ESC・AHAへブース出展を行った。

海外学会との共同シンポジウムの開催
ESCと共同シンポジウムを開催した。

国際名誉会員
3名の新規国際名誉会員の選定を行った。

2. 第74回学術集会コンgresレポートのホームページへの掲載

第74回学術集会における招請講演などのハイライトを学会の英文ホームページで報告した。また海外学会(WCC, ESC, AHA)の日循ブースにてCD-R版を配布した。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

①循環器専門医事業

1. 循環器専門医事業

- (1) 循環器専門医認定のための第21回循環器専門医試験を2010年8月22日、東京国際フォーラム(東京)、大阪国際会議場(大阪)の2会場で実施した。認定者は421名(2011年4月1日認定)。
- (2) 2011年4月1日に循環器専門医資格を更新予定の循環器専門医1,980名の認定更新(2011年4月1日更新)が承認された。
- (3) 循環器専門医・専門医を目指す会員の臨床研修のための研修施設・研修関連施設の指定および指定更新審査を行った。新たに研修39施設、研修関連43施設を指定し、更新は研修374施設、研修関連103施設を指定した。
- (4) 『循環器専門医』刊行: 専門医編集委員会からVol.18 No.2とVol.19 No.1を出版した。Vol.18 No.2は特集「第74回日本循環器学会学術集会」、Vol.19 No.1は特集I「基礎科学の進歩」特集II「第74回日本循環器学会学術集会」(震災の影響により、2011年4月25日に発刊延期)。
- (5) 循環器専門医認定・更新・研修施設・関連施設の指定および更新申請のためのWebシステムを導入した。
- (6) 循環器専門医更新の際に必修研修となる「医療安全・医療倫理に関する講演会」をWebで視聴して研修できるシステムを導入した。

②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. 第6回循環器専門医を志す研修医のための卒業セミナーの企画・開催

2010年7月11日(日)千里ライフサイエンスセンターにて、主に研修医を対象に、循環器学の面白さをアナライザーシステムを導入したレクチャーやグループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催した。

2. 卒後教育研修用DVDの製作・販売

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に資するため「循環器研修ビジュアルシリーズ」「第38回循環器教育セッションDVD」の製作・販売を行った。

3. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催した。

- (1) AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース
 - (2) AHA ACLSプロバイダーコース
 - (3) AHAハートセイバーAEDコース
- また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催した。
- (1) AHAコアインストラクターコース

- (2) AHA BLSインストラクターコース
 - (3) AHA ACLSインストラクターコース
- このほかインストラクター養成の一環として、10月のAHAガイドライン2010を受けた新しい指導演法について全国のインストラクターに説明会を行った。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

①心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植等に関する事業

- (1) 心臓移植に関連する各学会・研究会とともに、心臓移植実施施設の拡大および小児心臓移植実施施設の審査・検討を行い、移植関係学会合同委員会に施設推薦を行った。また必要な要望等を関係各所に提出した。
- (2) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出した。
- (3) 将来各心臓移植実施施設主体での適応検討に移行する準備として、心臓移植適応検討小委員会に移植実施施設の委員を数名追加し、合同で適応検討をすることとなった。
- (4) 1997年～2010年7月末までに適応検討を行った660例について、追跡予後調査(2年ごとに実施)を行った。
- (5) 心臓移植の適応について、新規申請71例、再申請21例の合計92例の検討を行った。
- (6) 心肺同時移植の適応について、新規申請2例の検討を行った。

②社会への広報・啓発事業

1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを開催した。セミナーのテーマは「改正臓器移植法施行後の心臓移植 - 現状と将来の展望 -」を取り上げた。

2. 学術集会プレスカンファレンス

第75回学術集会の企画内容をプレス向けに説明する会合として、東京でプレスカンファレンスを開催した。

3. 禁煙ポスターの増刷

禁煙指導のための教材として無料配布している禁煙ポスターの増刷を行った。

4. 禁煙ガイドブックの販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイド Passport to Stop Smoking」の販売をおこなった。

5. 禁煙キャラクターPRグッズの製作

禁煙啓発活動の一環とし禁煙推進キャラクター「す

わん君」ストラップ5,000個を製作した。

6. AEDメーカー各社へのアルゴリズム調査

AED製品の診断精度をAED検討委員会として把握するため、主要メーカーに質問書を送付し調査を行った。

7. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行った。

8. 男女共同参画に関する事業

- (1) 評議員からの提議により、循環器医を継続できる環境を整えること、研究支援や評議員等の学会における女性の役割について検討することを目的に男女共同参画委員会が発足した。
- (2) 委員会活動を進めるにあたり、現状調査を含め会員が本委員会に求めていることを明確にするため、女性会員約2,800名を対象にアンケート調査を行った。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 一般社団法人への移行

新しい一般社団法人制度への移行のため、定款案の作成や関連する下部規定の準備を進めた。また臨時総務委員会・支部担当者会議を開催し、制度の周知と課題の検討を行った。

2. 利益相反委員会

「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」の作成

臨床研究の利益相反に関する共通指針に基づく、本学会細則を検討作成し、循環器学の進歩向上を図り、もって学術の発展に寄与することを目指した。

3. 団体保険制度

本学会会員が有利な条件で加入出来るよう、勤務医師賠償責任保険及び総合補償保険について団体契約を結ぶ。

Circ. J. Vol. 74刊行状況

原 著 論 文			学 術 集 会 記 録 他			本文頁数計
論文数	頁 数	抄録数	頁 数	そ の 他 頁 数		
Circ.J.(英文誌)						
No.1	26	209	-	-	1	210
2	26	176	-	-	0	176
3	28	209	-	-	1	210
4	28	212	-	-	0	212
5	28	221	-	-	1	222
6	30	231	-	-	1	232
7	30	236	-	-	0	236
8	31	269	-	-	1	270
9	31	259	-	-	1	260
10	30	220	-	-	0	220
11	31	257	-	-	1	258
12	31	284	-	-	60	344
小 計	350	2,783	-	-	67	2,850
Supplement						
(英文誌)						
I	-	-	2,866	947	13	960
(和文誌)						
II	-	-		217	3	220
小 計	-	-	2,866	1,164	16	1,180
合 計	350	2,783	2,866	1,164	83	4,030

『循環器専門医』刊行状況(専門医制度委員会)

	本文頁数	専門医News頁数	頁数計
Vol. 18 No.2	182	15	197
Vol. 19 No.1*	180	24	204
計	362	39	401

※2011年4月25日に発刊延期